



高行く希望

第153号

令和2(2020)年5月12日
横浜市立寺尾中学校
045(571)4102
学校長 三宅一彦

学校教育目標

健康

個性

学ぶ力

前向きな気持ちで

学校長 三宅一彦

例年とは全く違う春を迎え、学校も全校生徒が一堂に会する場がないままに5月を迎えました。保護者の皆様におかれましては、先般のコロナウイルス感染症防止対策に係る一斉休業等の対応にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年度は、新入生340名を含めて、全校1010名の生徒で、新学期をスタートさせました。そして、それと同時に寺尾中学校は73年目を、私は寺尾中学校で4年目を迎えました。

このような状況の中だからこそ、これまで以上に、職員一同全力を挙げて、誰もが安心して通える寺尾中学を目指して参ります。

寺尾中学校は、学校教育目標の「子どもたちの『健康』『個性』『学ぶ力』を地域に根ざして伸ばしていきます」を実現するために、生徒一人ひとりが、主体的に学校生活を送ることにより、生きる力を育て参ります。

4月の始業式では、「自分のもっているすごいところを思い浮かべ、それをどのように活かすか、自分だけの目標を持とう。そして、その目標に向かって頑張っていこう。」という趣旨の話を行いました。

中学校生活では、本当に様々なことがあり、時には悩んだり、喜んだり、怒ったりすることもあるでしょう。しかし、たとえ今年のような状況においても、周りには必ず、友達や保護者、地域の皆さん、先生方が見守っていることをしっかり実感でき、安心して前向きな気持ちで、自分なりにチャレンジできるようになってほしいと思います。

また、このまちで生まれ育っていく生徒に、まちの人たちとのふれあいを通して、生き方を学び、将来地域の一員として活躍してくれることを願っています。

始業式で話した内容は、私自身へのメッセージとして、胸に刻み、この一年間、自分も様々なことにチャレンジをしていきたいと思いますので、保護者、地域の皆様のご助言・ご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

第73回入学式

今回、文部科学省からの通知を受け、横浜市教育委員会より「新型コロナウイルス感染症」拡大防止の方針で、「卒業証書授与式」に引き続き、保護者、来賓の皆様への参列のいない、新入生340名の「入学式」となりました。私ども教職員一同にとっても保護者の皆様、地域の皆様へ参列していただけないことが、誠に残念な気持ちで臨みました。皆様に、少しでもその様子をお届けできればと思います。



1 学年（黄学年）の教職員のメンバー



入学の言葉

今世間では、新型コロナウイルスの影響で様々なイベントが中止されている中、私たちは入学式を迎えることになりました。このような状況の中、入学式を行っていただきありがとうございます。

先日、私たちは小学校を卒業しましたが、今より沢山の仲間ができるだろうという期待、先生、先輩方から沢山の事を学べる喜びにもあふれています。

私は周りの人から頼られるような中学生になりたいと思っています。昨年、寺尾中学校の文化祭に参加しました。先輩方が協力してひとつのものを創っていく姿に感動したのを覚えています。私も学校行事に積極的に参加し、より良い出し物や楽しい思い出をつくっていきたく思いました。中学校生活を送る上で私たちはいまより「大人になる自覚を持たなくてはなりません。今までは考え方や発言に責任が伴うなど、あまり意識していませんでした。ささいな言葉で周りの人を傷つけることもありました。

新しい環境で大人になっても付き合っていける人間関係を築いていきたいと思っています。そのために私は「どんな言い回しで相手に自分の意思が伝わるか」等、気をつけていきたいです。そして、寺尾中学校の一員として仲間と共に多くの経験を積んでいきたいです。

最後になりましたが、これからお世話になる校長先生、先生、先輩方、私達新入生を温かい目で見守ってください。よろしくお願ひします。そして、同級生の皆さん、目標に向かって悔いのない学校生活を一緒に送りましょう。

令和二年四月六日

新入生代表